

# 討論（主なもの）令和2年度一般会計決算認定、水道料金及び下水道使用料などに対して

## 反対 竹村眞弓議員（無会派）

議第52号、議第53号、議第59号、議第63号、議第64号、議第65号

保育所など希望しても入所できなかった100人の隠れ待機児童は、幼稚園の預かり保育などで我慢している。市からの袋井商工会議所会館建設事業費補助金は、理に合わず多額である。工場立地奨励補助金及び産業立地事業費補助金は、誘致企業への過大な優遇措置であり認められない。国民健康保険税の限度額を引き上げたことで滞納者の増加や医療機関に受診できない状況となり、保険制度を維持するためにも税の引き下げを行う必要がある。市民の安全・安心のために、市独自の補助や支援を行い、新型コロナウイルス感染症対策を充実させる必要があった。

水道事業は、1億9,600万円余の純利益となっており、改修工事や過剰な契約水量の費用に充てるための引き上げには納得できない。下水道使用料及び農業集落排水処理施設使用料も水道料金と同様で、今回の引き上げは使用量が減少し経営改善策に逆行する。以上のことから反対する。

## 賛成 近藤正美議員（緑風会）

議第52号、議第53号、議第59号、議第63号、議第64号、議第65号

歳入決算額は470億4,100万円余、歳出決算額は、455億6,800万円余である。ここから翌年度への繰越財源を除いた実質収支額は10億6,400万円余であり、確実に黒字が確保されている。予算現額に対する執行率も歳入97.6%、歳出94.5%で、適切な執行がなされていると判断する。財政健全化判断比率も、実質赤字比率、連結実質赤字比率も黒字であり、本市の財政状況は健全であると判断する。

水道事業は、感染症対策などの公衆衛生の面においても、大きな役割を担っていることや、水道料金改定に当たり、使用者の急激な負担増を避ける配慮などがなされている。下水道事業及び農業集落排水事業は、公営企業としての独立採算制を前提に、市民負担の適正化を図り、一般会計からの繰入金の早期解消を望む。以上のことから賛成する。

## 反対 竹野 昇議員（無会派）

議第63号、議第64号

水道料金及び下水道使用料を値上げする時期が、コロナ禍で事業者や市民が大変な時期に重なり見送るべきである。大きな打撃を受けた事業者や市民の仕事と収入がそれ以前に戻るか、誰にも予測できない。特に飲食店や観光サービス業に従事していて仕事を失った人が復職できるかどうかも見通せない。経済的に苦しい人々に配慮し、そうした人々の生活をさらに苦しめる公共料金の値上げは許されない。以上のことから反対する。

\* 発言順で、掲載しております。

## 議案に対する議員の賛否

○：賛成 ×：反対 △：棄権 -：欠席または除斥（議長（戸塚哲夫）は、採決に参加しません。)

賛否が分かれた議案	太田裕介	鈴木賢和	黒岩靖子	安間 亨	村松和幸	村井勝彦	佐野武次	鈴木弘睦	戸塚哲夫	木下 正	竹野 昇	竹村眞弓	立石泰広	近藤正美	伊藤謙一	大場正昭	寺田 守	山田貴子	高木清隆	大庭通嘉
議第52号 令和2年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第53号 令和2年度袋井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第59号 令和2年度袋井市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第63号 袋井市水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号 袋井市下水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第65号 袋井市農業集落排水処理施設条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 上記以外の各議案は、全員、賛成でした。